

平成27年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース A群

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

「関係ないケンカ (カンケイナイケンカ)」「理科係 (リカガカリ)」「イカのダンスは済んだのかい? (イカノダンスハスンダノカイ)」など、最初から読んでも最後から読んでも同じ音になる文や言葉を回文 (かいぶん) と言います。

- 問1 オリジナルの回文を5個作成しなさい。出来るだけ長い方が望ましい。
(なお、問2は試験開始30分後に発表されます。)

問2 自作した5つの回文を台詞として使用した，中学生が主人公の物語を作成し，1,200字以上，1,500字以内で記述しなさい。なお，問1でオリジナルの回文が作れなかった場合は，これまでに聞いたことのある回文を利用しても構わないので，問1の回答欄を5つ全て埋めた上で問2に回答すること。

回文は登場人物の誰の台詞として用いても構わない。記述の際には，回文の箇所には下線を引き，問題1の解答用紙にある番号を下線部に書き入れなさい。

平成27年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース A群

出題の意図

本コースでは、教育学部のアドミッションポリシーの中でも特に、学びの場を豊かにするための創造性や人と人とを結ぶなどのコーディネート能力を培うことで、現代的・地域的教育課題に柔軟且つ適切に対応できる総合的・実践的指導力を持った人材を求めている。そして、単に臨床心理学にとどまらない、懐深い人間理解の視点を培うことで、現場で本当に役立つ臨床心理士や音楽療法士、臨床動作士の基礎を築くとともに、教員を含めた幅広いニーズに応えうる社会人の養成を行いたいと考えている。こうした専門家になるためには、人間に対する深い共感性と豊かな想像力が不可欠である。さらに、そうした想像力を活かす柔軟性と論理的思考能力が求められる。

こうした能力を評価するため、本入試問題では、回文を自作させ、さらにそれらを用いてストーリーを作成する課題を課す。本課題は、「サカサかぞくの だんながなんだ ほるぷ出版（2009/3/28） 宮西達也（著，編集）」という絵本に着想を得ている。回文を効果的に台詞として用いることで、物語の構成が可能なのである。回文を作成するには、認知的柔軟性が求められる。さらに、それを用いた物語を所定のルールに従って作成することも柔軟性や創造性、統合力等が求められ、その内容から共感性が伺える課題と言える。